

【小児科】

麻疹（はしか）患者数増加対策としてのワクチン接種について

小児科医師：富田 雄一郎



麻疹（はしか）の患者さんが発生したというニュースがチラホラ出ています。

MR ワクチン、麻疹ワクチン接種のご希望があればかかりつけに相談しましょうとマスメディアは言っていますが、ワクチン供給が追いついていないのが現状です。

麻しん・風しん

武田薬品工業株式会社から、乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン「タケダ」および乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」の自主回収についてが公開され、当該ワクチンにおいて、麻しんウイルスカ価が有効期間内に承認規格を下回るロットが確認されたこと、また、一部のロットでは、今後、有効期間の満了前に承認規格を下回る可能性があるため、自主回収が行われる見込みです。なお、自主回収が行われた場合であっても、前年同様の出荷量を維持することは可能であり、MR ワクチンの不足は生じない見込みとなっています。（2024/1/16更新）

 [乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン及び乾燥弱毒生麻しんワクチンの製造販売業者による自主回収への対応について（令和6年1月16日通知） \[534KB\]](#) 

過去の通知等は[こちら](#)（麻しん・風しん）

上記は厚生労働省のHP に記載されているものです。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou03/index_00002.html

前年同様程度なら供給できると書かれていますので、**前年以上の接種量には対応できない**ということです。

このため当院では下記の日本小児科学会 HP に記載されている優先順位で接種する患者さんのご予約を取っております。

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=266

一度も MR ワクチンを接種していないお子さん達を優先して接種しておりますので、1 回接種したお子さん達の 2 期前倒し接種や成人の方々への MR ワクチン追加接種は困難となります。

MR ワクチン定期接種は抜けること無く接種しておいてください。テレビで言われているように脳炎や死亡発生率は 1/1000 人かもしれませんが、罹患した場合の症状の激烈さは**インフルエンザを遥かに凌駕します**。麻疹の厄介なところは、**空気感染します**ので、コロナ患者さんよりもより厳重な管理が必要になります。入院施設は陰圧室と言って特別な設備が必要になり、入院ベッドが限られます。現時点では**世界中で麻疹患者数が増加しています**。グローバル化している日本もこの波に飲まれてしまわないように対策は普段から心がけが必要です。